

11/11(土)

へいこうしき

開校式

11/12付山形新聞・荘内日報より

羽黒一小 144年にありがとう



感謝を込め、歌を披露する児童たち
— 鶴岡市羽黒一小

【鶴岡】鶴岡市羽黒一小学校に感謝した。皆川治市長の式辞に続き、土井浩貴校長が「児童たちが大きな夢と希望を持って送り出した。来年4月に羽黒一小と統合し、羽黒一小としてスタートする。」とあいさつした。6年早坂真子さん(12)が「羽黒一小で学んだことを誇りに思い、新たな地でも私たちがらしく、手向つ子(どうげつこ)として前に進んでいく」と児童代表の言葉を述べた。

式に続いて行われたグラクシヨンドでは、児童たちが群読で月山登山や八朔(はつさく)相撲大会といった特色ある学校行事を振り返り、スクールのバンド演奏や合唱を披露した。同校は1874(明治7)年、禮善院に手向学校として創設され、これまでに4600人を超える卒業生を送り出した。来年4月に羽黒一小と統合し、羽黒一小としてスタートする。

参加態度や演奏・合唱に
こめられたみんなの思い、
皆さんの方の心を動かす
ことができました!

どうもありがとう!!

学びやに感謝込め

羽黒一小開校式

羽黒一小は1874年7月、現在の正善院に手向学校として開校。1964年、羽黒町立第一小、2005年に現校名となった。羽黒山麓の手向地区において、御田禎孝や花登のへの参加、八朔祭奉納相撲大会、南谷清博、月山登山など特色ある教育を進めてきた。開校144年の歴史を誇る学びやに感謝を込め、手向地区の素

大東っ子の誇り胸に

鶴岡市立羽黒第一小学校(土井浩貴校長、児童49人)の開校式が11日、同校で開かれた。在校生や保護者、教職員、地区住民などが出席し、144年の歴史と伝統を誇る学びやに別れを告げた。来年4月から羽黒一小との統合により「羽黒一小」としてスタートする。



鶴岡市立羽黒第一小学校開校式

「地域の伝統や文化に触れ、手向地区が大好きな大東っ子を育ててきた。子どもたちが大きな夢と希望を持って羽ばたき続けること、手向の素晴らしさを発信し続けてくれると期待」、児童代表し、6年生の早坂真子さん(12)が「先生、家族、地域の方、学びやに感謝の気持ちです。い。羽黒一小で学んだことを誇りに思い、手向の子として堂々と未来へ進んでいく」とそれぞれ述べた。続くグラクシヨンドでは、スクールのバンド演奏や全校児童による発表と合唱が行われ、学びやに感謝の思いと別れを告げた。

羽黒一小の頑張りは注目されています!!